

## 第5学年2組 道徳学習指導案

平成19年11月20日（火）第4校時

1 主題名 子どもの権利条約 4-(8) 国際理解・親善と人類愛

2 資料名 みんな地球っ子（日本標準）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

国際理解と親善の心を育て、互いに協力して世界の平和と人類の幸福に役立つ人間になろうとする心情を養うことをねらいとしている。今日の国際社会は、自国のみの幸福や利益だけを考えていたのでは共存できない。子ども達も同様である。国際理解・親善と人類愛ということの根本は、人権・人命尊重の精神が基本である。

(2) 児童について

前向きで明るい児童が多い。全般的に家庭環境も整っているといえる。

「あなたの生活の満足度は何点ですか？」というアンケートをとったところ、以下のような結果が出た。

満足度	人数	その理由
100点	17名	毎日楽しい。困ることがない。ご飯が食べられる。学校に通える。友達と遊べる。健康。
90点～	10名	塾に行くこと、ピアノの練習などが大変。
80点～	7名	やることがたくさんある、あまり遊べない。
60点～	1名	自分の生活を反省する（部屋の整頓・忘れ物・食事）。
60点以下	2名	もっと友達同士仲良くしたい。妹弟がじゃまをする。親に叱られる。自分の部屋がほしい。
※理由はそれぞれの点数とは対応しない。		

衣食住をはじめとする基本的な生活にはほぼ困っていない現状であり、その恵まれた状態に気付いている児童が半数いる。100点と思わない理由については、塾や、しなければいけないことへの忙しさを挙げる児童が多かった。また、自分自身の生活を反省する児童もいた。

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」については、内容を知らない児童も多いと思われる。「子どもの権利条約」にはどのようなことが書かれているのか、そして世界の子子ども達のどのような願いが込められているかを知ることは、これからの社会を生きる子ども達には重要なことである。

(3) 資料について

1989年に国連総会で採択された「子どもの権利条約」の第2条（差別の禁止）を中心にして、第6条（生きる権利・育つ権利）、第22条（難民の子ども）、第30条（少数民族・先住民の子ども）、第32条（経済的搾取・有害な労働からの保護）、第38条（戦争からの保護）の条文を知ることによって、「子どもの権利条約」に込められた子ども達の願いをつかみ取ることができる。

また、パソコンのネットロアで広がった「世界がもし100人の村だったら」の子ども編をもとにした世界の現状を表す関連資料を用いる。

世界の子子どもを100人という単位で表した、様々な現状の数字は、児童が自分と照らし合わせ、自分を世界の中に位置付ける上で、とても分かりやすい資料であると思われる。現在の日本で生活する私たちが当たり前と感じて享受しながら見過ごしていることをもう一度見直し、同時に、求めるべき本当に必要な権利を考えていけるものと思われる。

(4) 指導について

児童が思いを持ち、考える力を高めることができるように、「書く」場の設定に心がけている。本時でも、世界の子子ども達の現状を知って感じたことや自分との比較について書かせることで自分の考えを整理させ、自信を持って発表できるようにしたい。

また、普段の生活の中では知ることが難しい発展途上国の子どもの現状を、写真

などを用いて児童に分かりやすく知らせ、児童の視野を広げたい。その中で、自分の生活を見つめ直し、世界の平和と人類の幸福を考え、自分もその役に立つ人間になりたいという心情を養いたい。

- 4 本時のねらい  
 世界の子どもの願いを理解し、21世紀の国際社会のあり方を考える態度を育てる。
- 5 準備物 (教師用) 掲示用写真, 「子どもの権利条約」の条文 OHC  
 (児童用) ワークシート

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援 (・) と評価 (☆)
気付く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○衣食住や家庭, 学校, 放課後の生活などに満足しているか, 自分の生活を振り返ってみましょう。</li> <li>・困ることがないから満足している。</li> <li>・やることがたくさんあって忙しい。</li> <li>・もっと欲しい物がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にとったアンケート結果を知らせながら, 自分の日常生活を見つめさせたい。</li> </ul>
考える ・ 深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「子どもの権利条約」について知っていることを発表しましょう。</li> <li>・テレビや新聞で, 見たことがある。</li> <li>・子どもを守るきまり。</li> <li>○資料「みんな地球っ子」を読み, 「子どもの権利条約」には世界の子どものどんな願いが込められているか考えましょう。</li> <li>・差別しないでほしい。</li> <li>・無理やり働かせないでほしい。</li> <li>・戦争のない世の中になってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条文の必要性から, 子どもがおかれている厳しい実態と, そこに込められた願いに気付かせたい。</li> <li>第2条は, 国際理解と世界平和の中心となる内容であると同時に, 人間社会の基本であることを押さえたい</li> </ul>
見つめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「世界の子どもがもし100人だったら」を聞き, 世界の子ども達が, この権利条約に守られて生きているか考えてみましょう。</li> <li>・働いている子どもがいる。</li> <li>・教育を受けていない子どもがいる。</li> <li>・戦場にいる子どもがいる。</li> <li>・権利が守られずにつらい思いをしている子どもたちがたくさんいる。</li> <li>○自分の生活を見直し, これから自分ができることについて考えましょう。</li> <li>・世界には生きる権利が守られていない子どもがいる。私達は幸せだ。</li> <li>・もっと「子どもの権利条約」を調べたい。</li> <li>・自分達の権利について考えていきたい。</li> <li>・小さなことからできることを探したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100人の中の何人という理解しやすい数で世界の子どもの現状を考えさせる。</li> <li>・児童が分かりやすいように写真資料を提示する。</li> <li>・気付いたこと, 感じたことを書かせて自分の考えを整理させる。</li> <li>・世界の子ども達, 特に発展途上国の子どもに目を向けさせる。</li> <li>・自分達の生活に新しいめあてを持たせる。</li> <li>☆世界の子ども達と自分の生活とを比べ, 生きることの権利と互いに協力して生きることの大切さに気付くことができたか。</li> <li>(発表・ワークシート)</li> </ul>
高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生の話の聞きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践への意欲付けを図る。</li> </ul>